

■エッジ AI とは

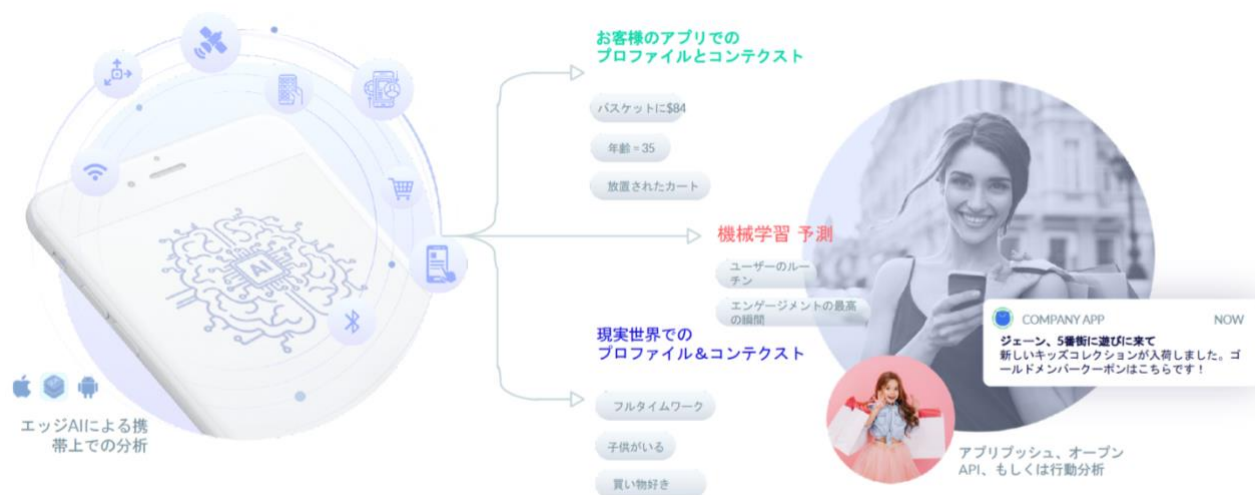
近年、従来のようにクラウドでデータを集中的に処理するだけでなく、スマートフォン、車、センサーなど、ユーザーに近い各端末で分散して処理するエッジコンピューティングが注目されています。エッジ AI は、エッジコンピューティングの派生で、AI を端末に搭載し、学習・推論させる技術です。エッジ AI は、クラウドで処理するクラウド AI と比較して、クラウドに情報を送信する必要がなく「リアルタイム性が増す」ほか、機密性の高い情報を端末に留めておけるため「セキュリティ強化」に繋がります。

■Anagog の優位性

Anagog の JedAI とマーケティングオートメーションシステム(JeMA)を利用すると、GDPR※1 などの個人情報保護を遵守しながら、パーソナライズな顧客体験を実現することが可能です。特に、Apple や Google などによるプライバシー保護の取り組み強化が進み、個人情報の取得や利用が難しくなる中、Anagog の技術はこれまで以上に重要な意味を持つこととなります。

1. ハイパーパーソナルなターゲティングの実現

JeMA では、スマートフォンのあらゆるセンサー(加速度計、気圧計、GPS、Wi-Fi、Bluetooth、磁力計など)が発する信号を利用してユーザーのリアルタイムの行動を把握します。これにより、ユーザーの居場所だけでなく、ユーザーが歩いているのか、走っているのか、バスに乗っているのか、電車に乗っているのか、車に乗っているのかなどを高い精度で分析できます。また、予めアプリに登録された年齢や性別、アプリ内で行われたユーザーの行動もこれらの情報と融合できるため、幅広いファーストパーティーデータ※2 を活用して、パーソナライズなターゲティングと顧客エンゲージメントの向上を実現できます。



2. 高いプライバシー保護

クラウドでデータを処理してユーザーに関連する情報をプッシュ型で通知する代わりに、ユーザーの持つスマートフォンがユーザーの行動を学習し、個々のユーザーのプロファイル(マイクロセグメント)とリアルタイムの文脈(マイクロモーメント)に基づいて、関連する情報をクラウドから引き出すため、クラウドには個人情報を一切開示する必要がありません。

3. アプリへの統合が容易

SDK によって統合するため、簡易なものになりますが、統合の「深さ」(=アプリ内のデータポイント数、アプリの種類など)に応じて、期間は変動します。

4. 少ない消費電力

JedAI は低電力で駆動し、バッテリー消費量は 1 日あたり 1%未満です。

※1:GDPR:「EU 一般データ保護規則」(General Data Protection Regulation)の略。個人データ保護やその取り扱いについて詳細に定められた EU 域内に適用される法令のこと。

※2:ファーストパーティーデータ: 企業が自社の顧客や web サイト訪問者に関して収集・保有しているデータのこと。

以上